



平成 26 年 6 月 20 日

各 位

会 社 名 三菱重工業株式会社
代 表 者 取締役社長 宮永 俊一
(コード番号 7011)
上 場 取 引 所 東 名 福 札
問 合 せ 責 任 者 グループ戦略推進室
広報部長 齊藤 啓介
(TEL03-6716-3111)

(開示事項の経過) 仏アルストム社の一部事業に関する提案について

当社は、6月16日（適時開示は日本時間の6月17日）、ドイツのシーメンス社と共同して、フランスのアルストム社に対して、同社の一部事業に関する提案を行った旨について発表いたしました。この度内容を一部改訂した提案書をアルストム社に提出したため、別紙のとおり「三菱重工とシーメンス、アルストムへの提案内容を改訂」を公表しますのでお知らせいたします。

なお、本件に関する今後の進捗につきましては、開示すべき事実を決定、あるいは開示すべき事実が発生した場合には、適時適切に発表してまいります。

以 上

2014年6月20日（ミュンヘン/東京）

三菱重工とシーメンス、アルストムへの提案内容を改訂

三菱重工業とシーメンスは、本日、アルストムに対し内容を改訂した提案書を提出しました。これは、三菱重工とシーメンスが、アルストムをエネルギーおよび輸送事業分野での独立したグローバルプレイヤーとして強化するべく、両社のコミットメントを明確にしたものです。

三菱重工とシーメンスは、この数日間、ステークホルダーとの広範囲な議論を行い、複雑な提案内容を簡素化し、実行性を高めるよう見直しを行いました。

これを踏まえ、三菱重工とシーメンスは、すべての関係者の利益となるよう、提案の構成を単純化する決定を行いました。

その結果、両社の現金による投資額は12億ユーロ追加され、合計82億ユーロとなりました。また、アルストムのエネルギー事業に対する評価額は、4億ユーロ増えて146億ユーロとなりました。

改訂された提案によっても、引き続いて、アルストムの現状の事業範囲のほとんどが保持され、同社の事業の持続性は高められ、財務構造は強化されます。また、同社が約200億ユーロの売上を持つフランスの上場企業グループであり続けることを可能にします。

三菱重工による1,000人の新規雇用と、シーメンスによる1,000人の訓練生の雇用は、フランスにおける雇用創出を促進します。

三菱重工とシーメンスは、アルストム、その従業員、顧客、株主、さらに、フランスの国益にとって、この提案が最適であると固く信じています。この提案は、事業、財務、社会のすべての面において優れています。

提案の詳細は、次の通りです。

三菱重工は、アルストムの蒸気タービン、送配電機器および水力発電システムの各事業を束ねた事業の40%を取得します。6月16日の提案で示された、3つの合弁会社をつくる計画とは異なり、単一の持株会社を通じて投資が可能となるため、この改訂により、取引の実行が大幅に簡素化されることとなります。

三菱重工の現金による投資額は、31億ユーロから8億ユーロ増え39億ユーロとなりますが、上記の3事業に対する評価額は変更されません。

また、シーメンスは、より詳細な機会・リスク分析に基づき、4億ユーロの現金拠出を増加させました。これにより、シーメンスの提案の総評価額は、43億ユーロとなります。

さらに、鉄道事業に関し提案された趣意書に加え、シーメンスは、アルストムとシーメンスの間で信号システムを含む運輸管理事業の合弁についても、ただちに協議に入ることを提案します。

以 上

【問い合わせ先】

三菱重工業株式会社

広報部 広報グループ TEL 03-6716-2168

Siemens AG

Marc Langendorf, TEL +49 89 636 41360